



Shoei Catalogue

安全設備関係



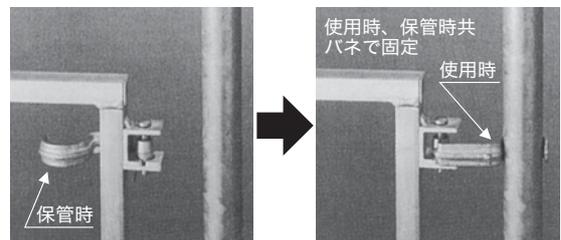
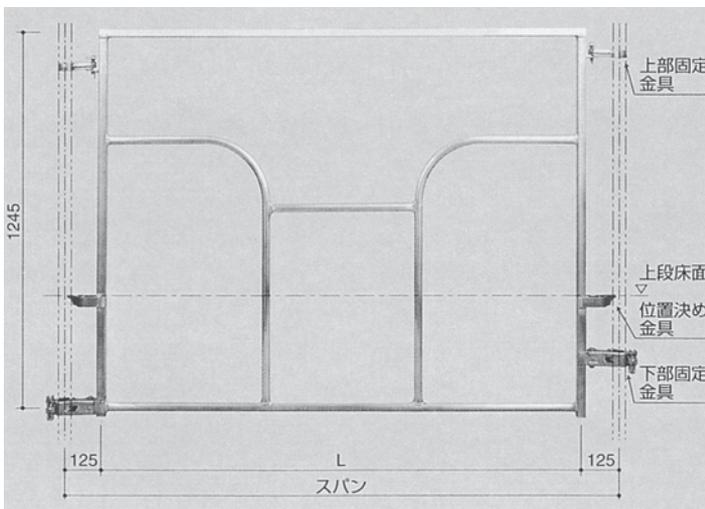
SHOEI

ビティガード

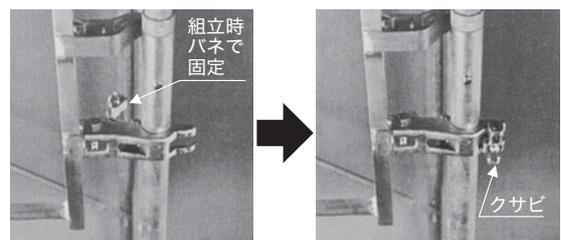
特長

- 1 足場組立と同時に手すり枠ができます。**
作業員が上段に上がる前に、下段から取り付けられ、上段に上がった時には、既に手すり枠が存在しており、作業中の墜落災害を防止します。
- 2 従来の建枠にそのまま組み付け。**
従来からの建枠を改造することなく、手すりの機能を簡単に追加できます。
- 3 工具が不要。**
ワンタッチで取り付けることができるため、特殊な工具を必要としません。
- 4 手すり枠のガタツキが少ない。**
下部固定金具にクサビクランプを使用しているため、組立後、より安全性があります。
- 5 優れた美観性。**
都市空間にマッチした優れた美観性を発揮します。

形状



▲上部固定金具



▲下部固定金具 (クサビクランプ)

品番及び規格寸法

品番	スパン(mm)	L (mm)	質量 (kg)
AL-6ST	1,829	1,579	8.12
AL-5ST	1,524	1,274	7.59
AL-4ST	1,219	969	7.11

積載数量 [トラック標準積載量]

- 10 t 車 300枚
- 4 t 車 180枚



認定試験結果

(社)仮設工業会認定合格品

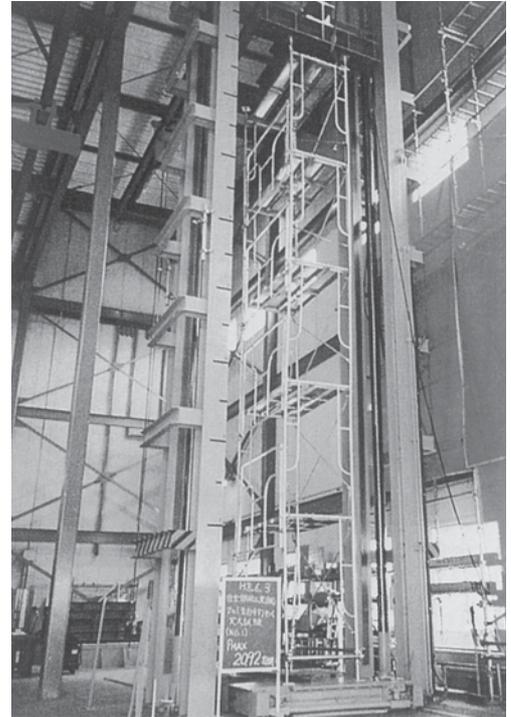
1 手すり材の水平移動量及び強度試験

供試体No	1	2	3
荷重30kgf時の水平移動量 (mm)	43.5	43.5	46.5
荷重100kgf時の破壊の有無	無	無	無
認定基準値	水平移動量		100mm以下
	破壊の有無		荷重100kgfで破壊しないこと

2 5層組立て時の荷重試験

強度	20.920kgf
認定基準値	14.000kgf以上

3 5層組立て時の荷重試験状況



使用上の注意事項

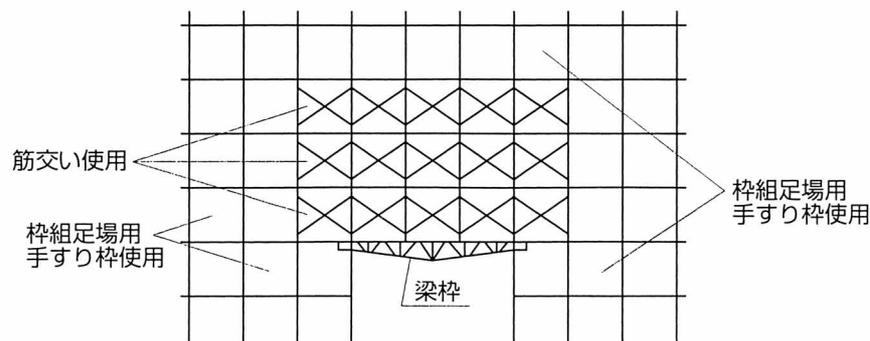
枠組足場用先行型手すり枠は、標準建枠に取り付けた場合でも、簡易枠と同じ強度の扱いとなります。

建枠寸法 (mm)		建枠1枠当りの許容支持力	載荷荷重 1スパン当り	使用高さ	※壁つなぎ間隔	
幅 (W)	高さ (H)				垂直	水平
600以上 1,250以下	1,800以下	34.3kN (3,500kgf)	200kgf 2層以下	45m以下	3層 (2層)	4スパン (2スパン)

※ () 内は、養生シートを張った場合です。

組立時の注意事項

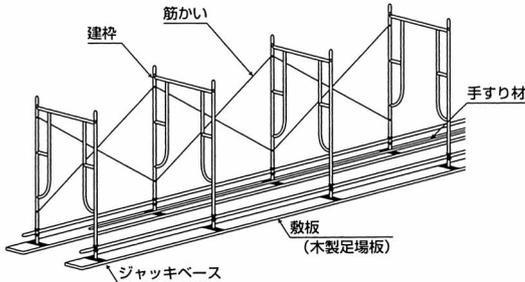
- 1 枠組足場の第1層の水平レベルを出して下さい。
- 2 枠組足場の外側に手すり枠を、躯体側には筋交いを取り付けて下さい。
- 3 枠組足場用手すり枠を用いる場合は、床つき布枠を各層各スパンに取り付けて下さい。
- 4 枠組足場の一部に梁枠を使用する場合には、梁枠の真上部及び梁枠のレベル上の両端それぞれ3層以内には、筋交いと手すり枠を、例図に示すように併用して下さい。





1 建枠の組立

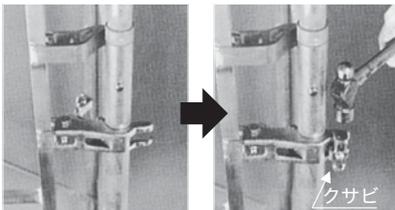
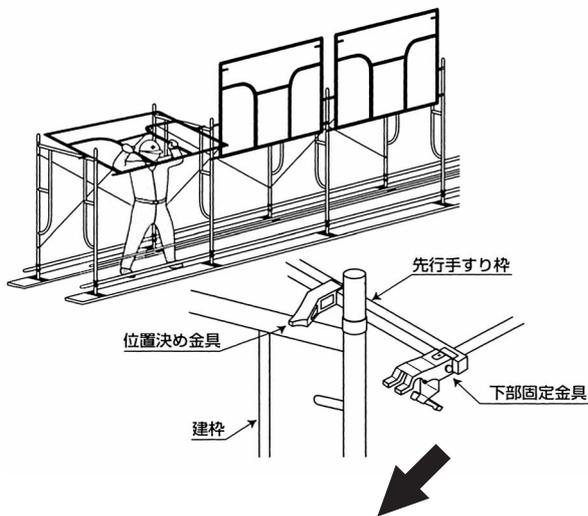
従来建枠の組立要領に従い組み立て下さい。



敷板の上にジャッキベースを置き建枠を組み立てる。前踏み側（建物側）に筋交いを取り付け自立させる。次に後踏み側（道路側）に手すり材を取り付け、更に根がらみの取り付けを行う。

2 ビティガードの取り付け

下部固定金具を建枠の外に出し、建枠内側の位置決め金具を建枠の横地に引っ掛け、回転させながら下部固定金具をセットする。



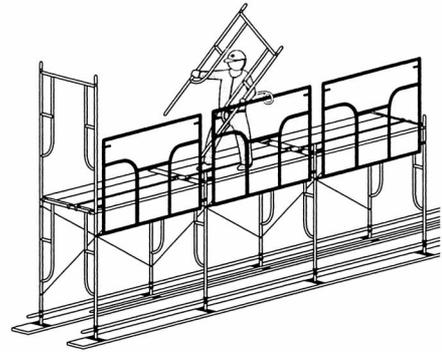
下部固定金具は、蓋を閉じた後、クサビをハンマーで2～3回打ち込んで下さい。

3 鋼製布板の取り付け

従来建枠と同様に鋼製布板を取り付けます。

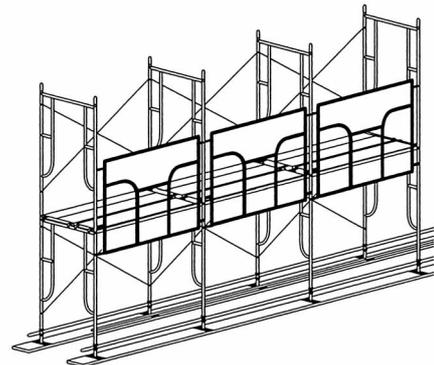
4 建枠の組立て

先行手すり枠に安全帯のフックを取り付け、建枠を組み立てる。

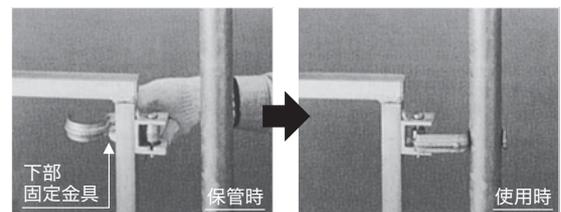


5 筋交いの取り付け

前踏み側筋交いで自立させた後、先行手すり枠の上部固定金具をセットする。



上部固定金具はスプリングで固定されていますので、下図のように軽く持ち上げ回転させながら、所定の位置にセットして下さい。



6 2段目以降の先行手すり枠の取り付け2～5の手順を繰り返します。

7 解体

解体については、前記の逆の手順にて行って下さい。

■製品改良等により予告なく仕様変更することがあります。



SHOEI

スカイガード

墜落労働災害防止に 3つの効果

1

常に、枠組足場の組立・解体作業時に「手すり枠」があり、安全に作業をすることが出来ます。

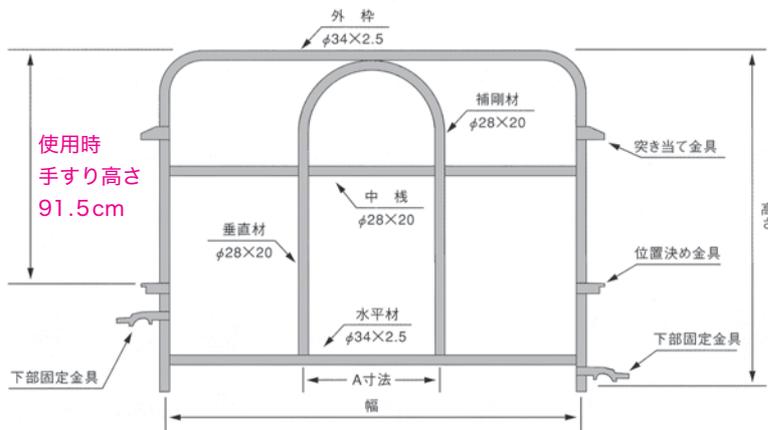
2

スカイガードには、中棧、2本のタテ棧があり、中腰作業での転倒などによる墜落を防止することが出来ます。

3

手すり枠は、手すりの高さが**91.5cm**あり、乗り越えなどによる墜落を防止することが出来ます。

■スカイガード全般についての使用方法は取扱説明書を参照することをお願い致します。



高い機能性による安全対策
超軽量による取り付け作業時の取り回しのしやすさや、取り付け工程の削減による時間短縮など、作業者にやさしい利便性と機能性を両立させています。

積載数量 [トラック標準積載量]

- 10 t 車 300枚
- 4 t 車 180枚



型式別主要寸法及び重量

型 式	高さ (mm)	幅 (mm)	A寸法 (mm)	質量 (kg)
ASGF- 18 T	1307	1683	530	7.0
ASGF- 15 T	1307	1378	424	6.4
ASGF- 12 T	1307	1073	424	6.0
ASGF- 9 T	1307	768	316	5.3

スカイガードは、さまざまな耐久テストや負荷実験をくり返し、設定基準をクリアしています。

1 認定基準および試験値

手すり材の水平移動量

試験方法		水平移動量 (mm)	強度等
所定試験治具により30kgfの荷重をかけたときの水平移動量	認定基準	100以下	—
	スカイガード	42	—
荷重100kgf時で破壊の有・無	認定基準	—	破壊しないこと
	スカイガード	—	無

先行手すり枠付き足場の荷重試験

試験方法		最大荷重 (kN)
5層組立時の荷重試験	認定基準	138以上
	スカイガード付き足場	166.7

2 許容支持

スカイガードで構成する枠組足場の許容支持力は、下記に示す数値で計画して下さい。

- 標準枠(建枠幅90cm以上125cm以下、建枠高さ180cm以下)の許容支持力は、簡易枠組足場(建枠幅40cm以上90cm未満、建枠高さ180cm以下)の許容支持力に準じ、建枠1枚当たり3,500kgf(建枠脚管1本当たり1,750kgf)とします。
- ジャッキ型ベース金具の繰上長による建枠の許容支持力は、右記の表の値として下さい。

建枠の種類 繰上長	簡易枠・標準枠	
	1枠当り	1脚当り
200未満	34.3kN (3,500kgf)	17.1kN (1,750kgf)
200以上 250未満	32.8kN (3,350kgf)	16.4kN (1,675kgf)
250以上 300未満	31.3kN (3,200kgf)	15.6kN (1,600kgf)
300以上 350未満	29.9kN (3,050kgf)	14.9kN (1,525kgf)

3 使用上の注意事項

枠組足場用先行型手すり枠(スカイガード)は、標準建枠に取り付けた場合でも、簡易枠と同じ強度の扱いとなります。

簡易枠				
建枠寸法 (mm)		建枠1枠当りの許容支持力	積載荷重 1スパン当り	使用高さ
幅 (W)	高さ (H)	34.3kN (3,500kgf)	250kgf 2層以下 (建枠600mm幅)	45m
900未満	1800以下			

- 枠組足場の第1層の水平レベルを出して下さい。
- 枠組足場の外側にスカイガードを、躯体側には筋交いを取り付けて下さい。
- 枠組足場の全層、全スパンには、床付き布枠を取り付けて下さい。
- 足場開口の梁枠を使用する部分には、梁枠のレベル上の両端それぞれ3層以内には、筋交い又は筋交いとスカイガードを例図に示すように併用する。
- 枠組足場用先行型手すり枠(スカイガード)の認定基準による性能試験値：型式ASGB-18(アルミ)
- 900、1200mm幅の建枠にスカイガードを使用した場合、1スパン当りの積載荷重はそれぞれ、370、500kg以下として下さい。

(1) 手すり材の水平移動量及び強度試験

供試体 No.	1	2	3
荷重30kgにおける水平移動量 (mm)	42	39	39
荷重100kg時の破壊の有無	無	無	無
認定基準による値	水平移動量	100mm以下	
	破壊の有無	荷重100kgfで破壊しないこと	

(2) 5層組立て時の荷重試験

強度	20.48
認定基準による値	14以上



SHOEI

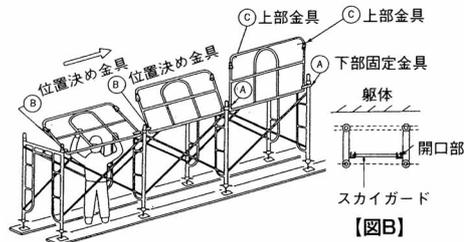
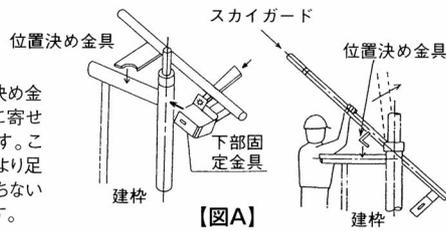
スカイガード

組立手順

組み立て方

1

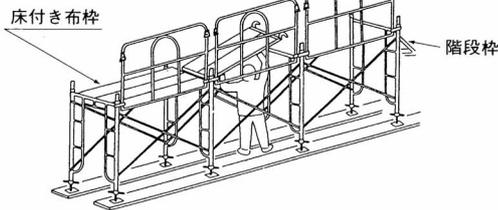
スカイガードの位置決め金具をジョイントの方に寄せさらに立て起こします。この下部固定金具により足場の外側に絶対落ちない構造となっております。



スカイガードの仮置きは下部固定金具のU字形開口部をB図のように置きます。

2

床付き布枠、階段枠を取り付けます。



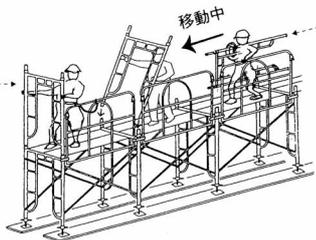
▲建柱を取り付けた時に上部金具は垂直状態になっています。



▲上部金具を上へ引き上げ、建柱に水平に突きあてた状態。

3

足場の両サイドの建柱を組み立てる場合には、スカイガードの手すりに安全帯を取り付けて作業して下さい。



作業者が建柱又は筋交いを運搬するときには、必ず肩に担ぐか又は手に持ち、片手はスカイガードの手すりにつかまりながら作業床上を移動することを厳守して下さい。



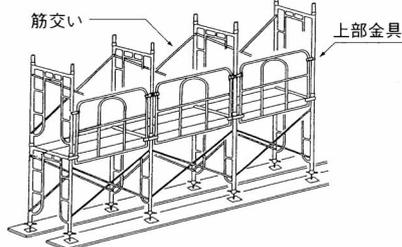
▲建柱を肩に担つぎ、片手はスカイガード手すりにつかまりながら移動中。



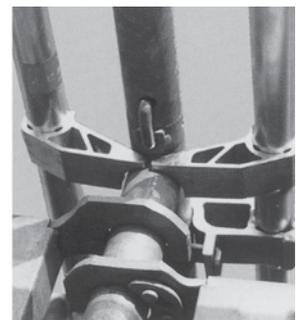
▲足場の先端部に建柱を取り付ける場合にはスカイガードの手すりに安全帯を取り付ける。

4

筋交いを躯体側に取り付けます。その後建柱にスカイガード上部金具を突きあてます。



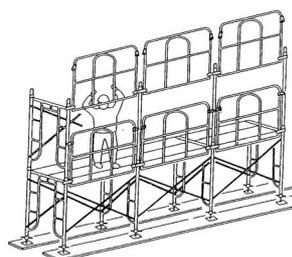
▲建柱に上部金具を突きあてます。



▲アームレスジョイントの建柱にも取り付けられます。

5

スカイガードを建柱に取り付けます。





SHOEI

ベランダブリッチ

枠組足場と躯体のベランダや屋上階への乗り越し用軽量ステップ!!



特 徴

- 手すり枠の中間棧にてレベル合わせが可能。
- 4つのパーツが容易に結合、分離。
- 建枠側と躯体側のステップは開脚角度の設定可能。
- 天板は開閉可能。
- インチ・メートル兼用可能。
- 躯体側ステップの伸縮により、レベル調整が可能。



SHOEI

組立手順

1 手すり枠の取付

- 中央の横桟をベランダの高さに合わせる様に、クランプ1、2を固定する。
- 伸縮水平材を伸ばしてクランプ3を固定する。

2 本体ステップAとBの取付

- ステップAを手すり枠の伸縮水平材に乗せ、ノブボルトを締める。
- ステップAと結合できる高さにステップBの伸縮調整ステップを粗調整する。
- ステップBをステップAに連結する。
- ステップAの天板を降ろしてロックし、天板が水平になるようにステップBの伸縮調整ステップを再度調整する。
- ステップBの間隔調整ステップを、ほぼ等間隔に調整する。

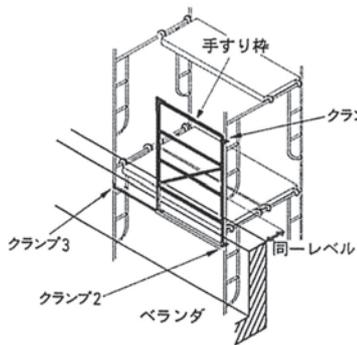


手すり枠は本体の左右どちらにも取付可能

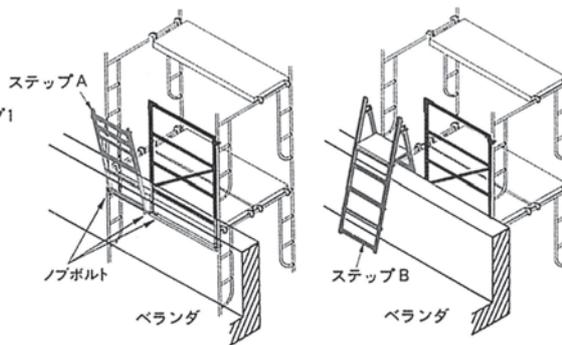
3 本体昇降手すりの取付

- 昇降手すりをステップBに差し込み、ノブボルトを締め、連結ピンで手すり枠と連結する。

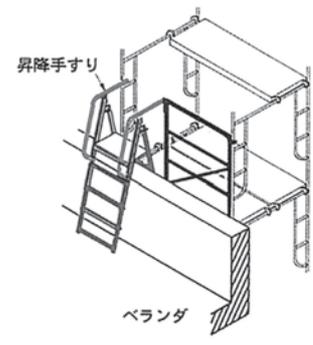
(1)手すり枠の取付



(2)本体ステップAとBの取付



(3)本体昇降手すりの取付



寸法・質量／許容荷重

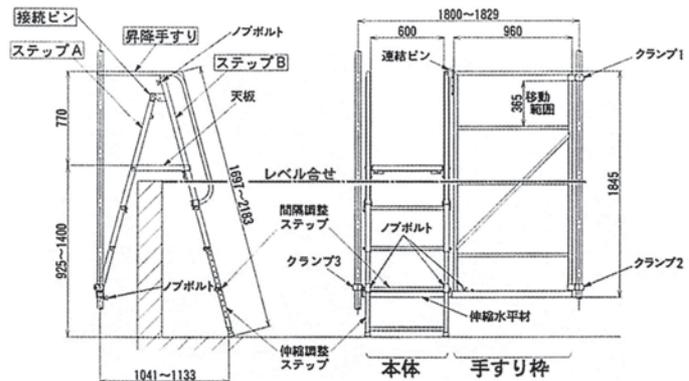
本体（アルミ軽合金）16.6kg

- 建枠側とベランダ側のステップは連結式で開脚角度の設定可能、且つ分離可能。
- 天板は開閉可能

手すり枠（アルミ軽合金）7.3kg

- 本体に連結式で、インチ・メートル兼用可能。

許容荷重 1.47kN（150kgf）



注意事項

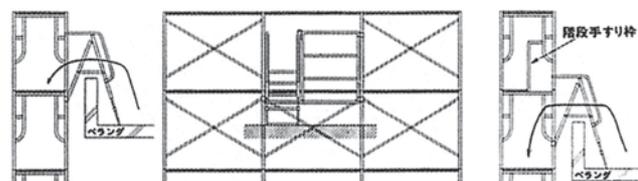
- ◎使用前に、クランプ、ノブボルト、連結ピン等が確実に固定されているかを確認して下さい。
- ◎ベランダ側の脚が浮いている状態では絶対に昇降しないで下さい。
- ◎建枠のどの位置に『ベランダフリッチ』が取り付くかは、ベランダの床レベルやベランダ手すりの高さによって決まります。従って、設置例A、Bのように現状に合わせた足場板を設置して下さい。

- ※設置例A 建枠の内側筋違は、『ベランダフリッチ』取り付け位置のみ取り外しますが、周囲は取り付けておいて下さい。
- ※設置例B 建枠の内側筋違は、『ベランダフリッチ』取り付け位置とその上も取り外します。その際、足場板の開口部からの落下防止のために、階段手すり枠等を必ず設置して下さい。

設置例A：上部層への渡り

設置例Aの側面図

設置例B：下部層への渡り





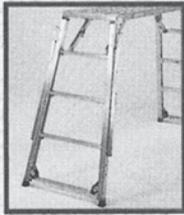
SHOEI

マイティーベース

軽量、安全、使いやすい機能を満載。拡張も自在の多機能作業台

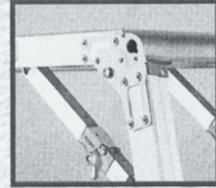
収納式手掛かり棒

昇降時に便利
&安全な手掛
り棒付。
持ち運び時は、
本体側に収納
できます。
(CSR180WD
CSR160TD)



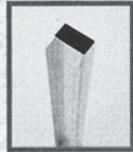
ガタツキを大幅に解消

開脚状態で回転金具と固定金
具が完全接触。突き出しピン
方式だけでは解消が困難な金
具部分のガタツキが大幅にな
くなりました。



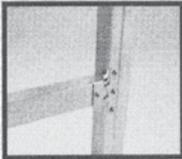
徹底した軽量化 と高い剛性

支柱の基本は
□パイプ構造。
軽量と剛性の
両立が図られ
ています。

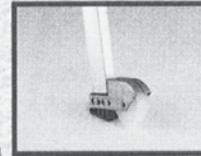


堅牢設計

踏棧は端部と支柱を
密着させ補強部材を
施す堅固な設計。

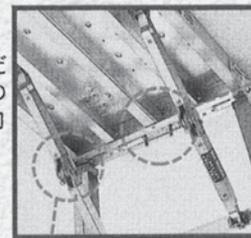


専用車輪付 (オプション装備)



優れた安全性

自動ロックヒンジを組み込んだ
プレスと、スライドロックとの
二重ロックにより、横(妻)方向
の揺れも大幅減少。
(CSR180WD/160TD/150D)



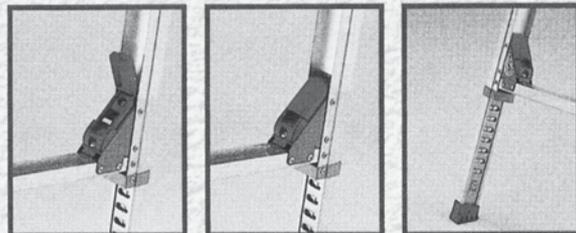
スライドロック

※写真はCSR180WDです。

自動ロックヒンジ

各脚伸縮と二重安全の防塵カバー付 貫通ロック方式でメンテも簡単

各伸縮脚は、25mmピッチで調節可能。凹凸のある場所でも
天板を傾けずに作業できます。
ロック操作部は安全カバーを採用。蓋が閉じられることで
ロック確認が行え、操作部への異物の侵入も防ぎます。
確実に固定できる貫通ロック方式により、コンクリート
等の付着時のメンテも簡単に行えます。





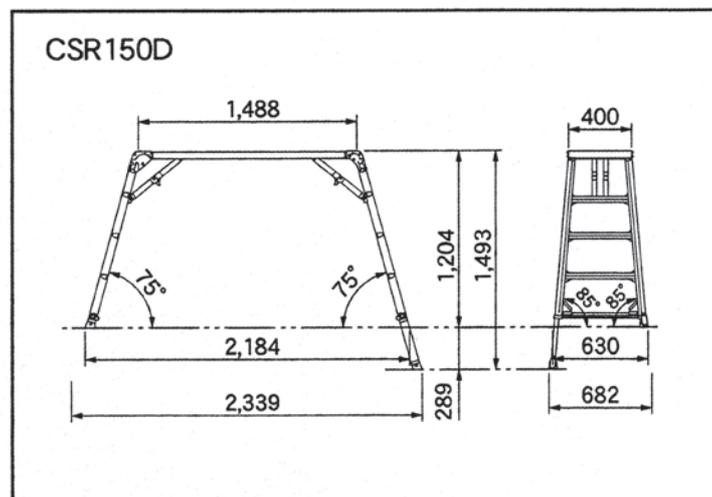
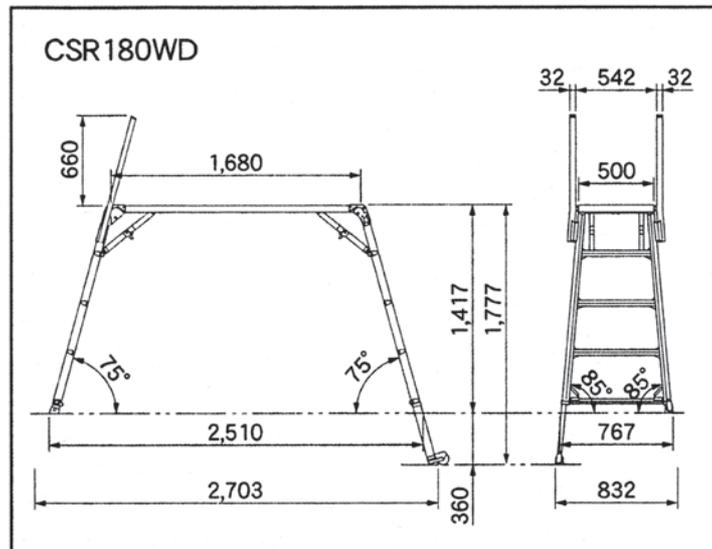
SHOEI

マイティーベース

各種寸法図

あらゆる現場に対応できる豊富なサイズバリエーション

各種寸法図





SHOEI

オリオン500

安全性と作業効率から考案された、 新時代型 組立式踏み台

いま迄にない連結式組立作業台として、現場からの声を生かし
扱いやすさと作業効率から、考案設計されたオリオン500。

もちろん安全性は最重要視！

組合せにより利用価値が広がります。



電気・通信工事



階段状に設置して安全な昇降



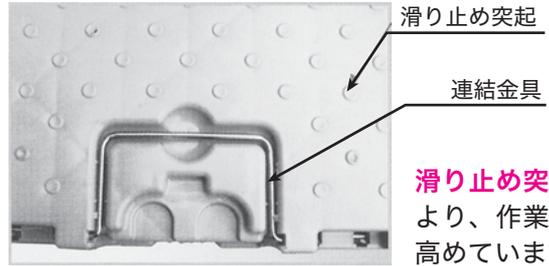
SHOEI

オリオン500

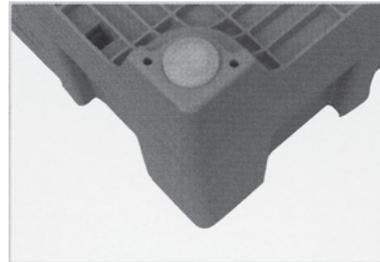
特長

- 1 | **小型**であり、狭い所で使用できます。
- 2 | **軽量**で持ち運びが容易です。
- 3 | **積み重ね**ができます。
- 4 | **連結**ができます。
 - (1) 本体同士の**直接**連結ができます。
 - (2) **SGブリッジ**を使って連結ができます。
- 5 | **安全**が保証されています。
 - (1) 許容荷重 1.47kN (150kgf)
(社)仮設工業会東京試験所にて試験
 - (2) 踏み外し防止装置が備わっています。

オリオン500はリサイクル商品です。



滑り止め突起採用により、作業安全性を高めています。



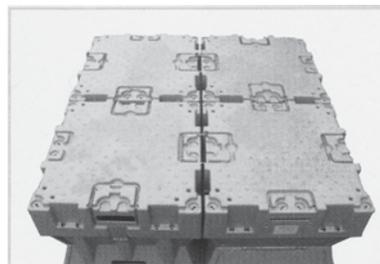
床仕上げ面を傷つけない**ゴム脚**が装着されています。スベリ止めの効果もあります。



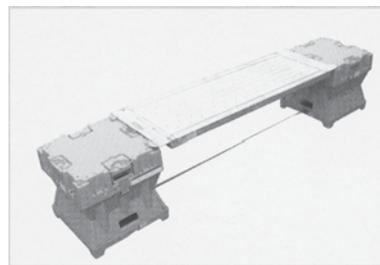
SGブリッジで連結し、線の作業



軽量で持ち運びが容易です。



積み重ね・連結して使用することができます。



SGブリッジ（オプション）で連結できます。
注意：2段積みの場合には連結しないでください。



照明等の取替作業
安全な作業床
(500×500)



絶縁体なので電気・通信工事に最適



SHOEI

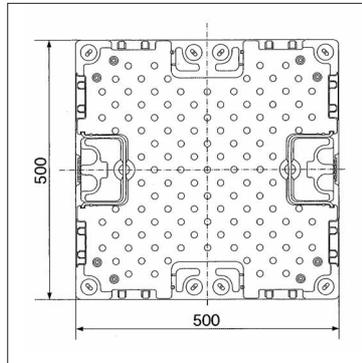
オリオン500

製品仕様・組立手順

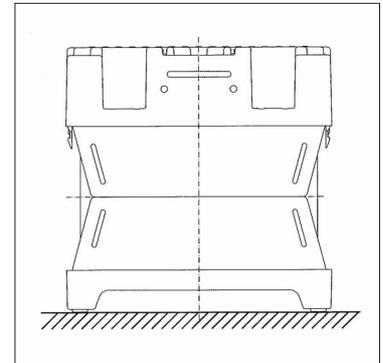
製品仕様

- 外径：幅500 奥行500
高さ230・500mm
(折り畳み時) (組立時)
- 重量：約6.3kg
- 材料：PP (ポリプロピレン)
- 強度：最大許容重量 1.47kN (150kgf)
- 耐用年数：5年
- 電気特性
 - 体積抵抗： $10^{15}\Omega\text{cm}$
 - 耐電圧：30~32KV/mm
 - 誘電率：2.2~2.4 (60Hz)
 - 誘電体損失： $1\sim 2\times 10^{-4}$ (60Hz)

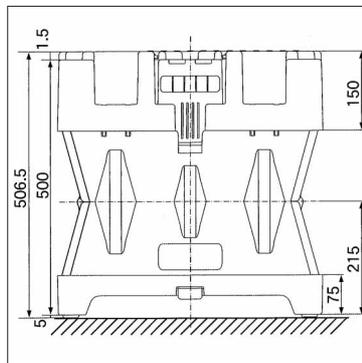
※オリオン500は改良のため寸法や仕様を変更することがあります。



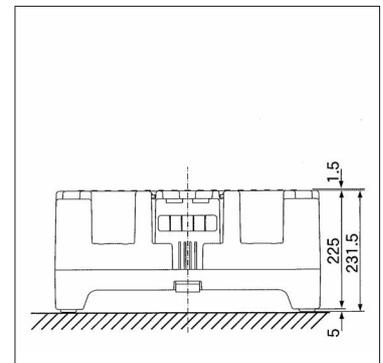
平面図



側面図 (組立時)



側面図 (組立時)



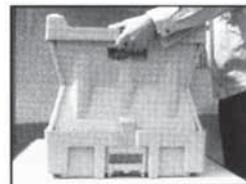
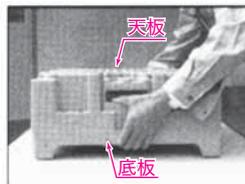
側面図 (折り畳み時)

組立方法

工具無しで組立て・折り畳み可能

折り畳み方法

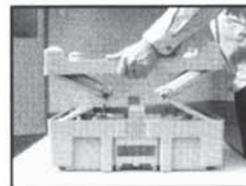
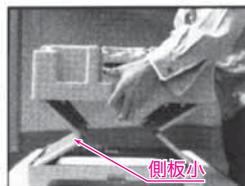
- 1 天板と底板のロックを解除し、天板を持ち上げます。



オリオン500本体を裏向けます。

1

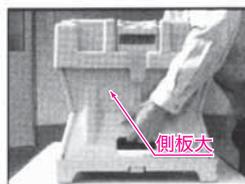
- 2 天板を真上にゆっくり持ち上げると側板小が天板と底板の間から出てきます。



側板大と底板とのロックを解除してから底板を持ち上げます。

2

- 3 側板小と側板大がしっかりと噛み合っていることを確認しながら側板大と底板とのロックを必ず固定します。側板大の凸部が表から見えるまで押し込んでください。



指を挟まないようにして、ゆっくり底板凹部を天板凸部にはめ込んでロックを固定します。

3



SHOEI

オリオン500

強度試験結果

オリオン 強度試験結果

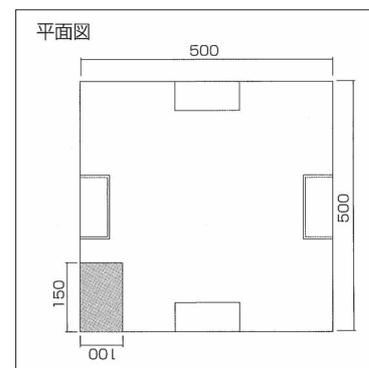
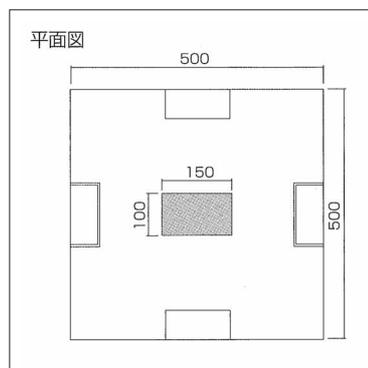
仮設工業会東京試験所にて試験

1 中央部荷重試験

供試体No.	No.1	No.2	No.3
1.47kNの鉛直たわみmm	10.7	10.9	10.9
最大荷重kN	7.94	8.67	9.54

2 偏荷重試験

供試体No.	No.1	No.2	No.3
1.47kNの鉛直たわみmm	8.5	8.7	8.9
最大荷重kN	4.13	4.03	3.77



使用上の注意

- ①オリオン500は、建築物の天井・壁などの仕上げ作業に使用する作業用踏み台です。
- ②最大荷重は、必ず150kgf【1470N】以下で使用してください。
- ③使用前にヒンジ、ストッパー、その他の部品の外れ・割れなどの異常のないことを確認してください。
- ④次のような場所には設置しないでください。
 - 傾斜している場所。●段差や凸凹のある場所。●不意の移動（すべり等）や沈下の恐れのある場所。
- ⑤使用時には必ず次の項目確認してください。
 - 1.確実にストッパーがロックされていること。
 - 2.側板大と側板小とが所定の位置で確実にかみ合っていること。
- ⑥2段積みで使用する場合には転倒しないよう、あるいは安全に昇降できるよう処置を行なってください。
- ⑦溶接・溶断などの火を扱う場所、高温になる可能性のある場所では使用しないでください。火災および有毒ガス発生の危険性があります。



SHOEI

幅止め金具

新商品

はばどめ君

ワンタッチで一発緊結 すぐれ物

意匠登録出願中

湘栄産業オリジナル商品



足場板 幅止め金具

特長

- ① 隙間防止
床材間の隙間は3センチメートル以下とする（労働安全衛生規則（作業床）第563条 2）の問題はこれで解決します。
- ② 1スパンに1ヶ所、軽くて、特殊曲げ加工により取付・取外し作業が簡単に出来ます。
- ③ フラットバーの為、歩行面の段差がなく歩きやすい。



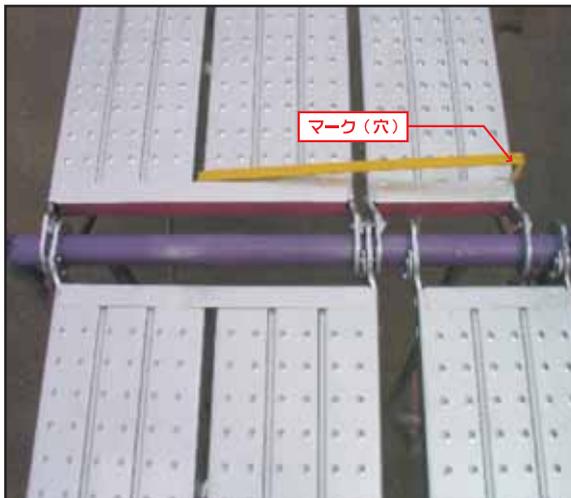
SHOEI

取付方法

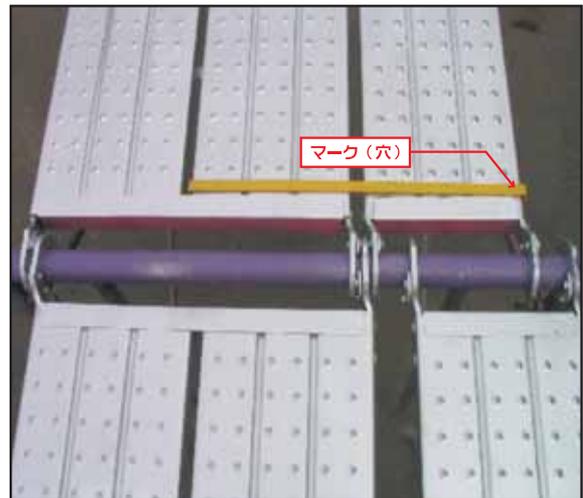
取付方法

1. 建枠W=914の場合

①足場板 (W=500) の隙間 (マーク (穴) 付いて無い側) に差し込む。

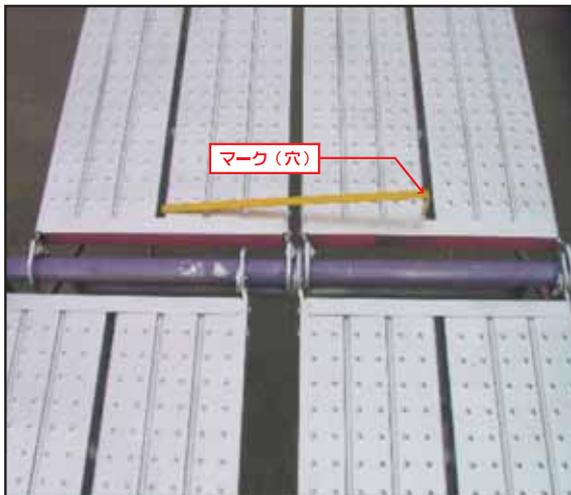


②足場板 (W=240) の外側にプッシュして固定する。

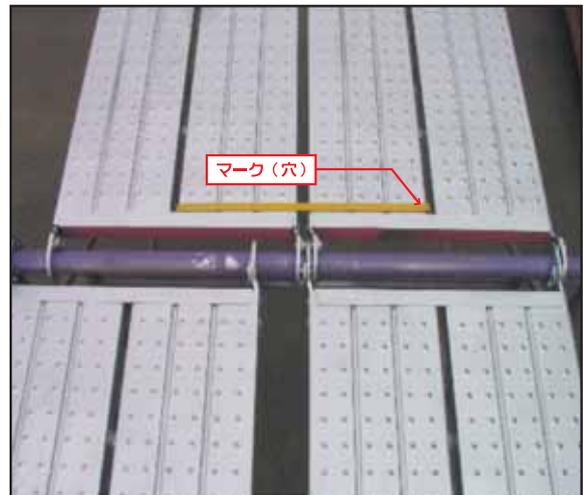


2. 建枠W=1219の場合

①足場板 (W=500) の隙間 (マーク (穴) の付いて無い側) に差し込む。



②足場板 (W=500) の隙間にプッシュして固定する。



取外し方法

マーク (穴) の方から引き上げて、外します。

※メーカーにより幅止めの寸法が合わないことがあります。

※用途外の使用は避けてください。



SHOEI

幅木フック&幅木ジョイント

湘栄産業オリジナル商品

●意匠登録出願中

簡単・安全!
取り外し自在!!



SHOEI

幅木フック&幅木ジョイント

●従来の番線を使用した幅木取り付け



○幅木フック&ジョイントを使用した場合



幅木フック&ジョイントが足場を変える。

従来の番線などを利用した幅木固定方法に比べ、簡単に取り外しが可能です。

また、しっかり固定される為、安全性も大幅に向上します。

※幅木フックには、建枠用（φ42.7）と単管用（φ48.6）の2種類ございます。

●幅木フック



●幅木ジョイント



●幅木フック取り付け



●幅木ジョイント取り付け

